

自然観察サークル 9 月定例会ブログ



エゴノキの虫こぶエゴノネコアシ（写真は吉田さん）

自然観察サークルの9月定例会では、午前中は高松塚地区の公園の中で植物観察をし、午後は虫こぶのプレゼンテーションでいろいろな虫こぶの写真を見たり説明を聞いたりして知識を深めました。そしてこの観察会を通して自然のふしぎやすばらしさを感じとることができたらいいなと思っています。

9月の定例会は高松塚地区にある公園館前に集合して始まりました。



準備運動（写真は清原さん）



出発



植物の説明



観察中



ジャガの説明



観察終了後昼



虫こぶプレゼン

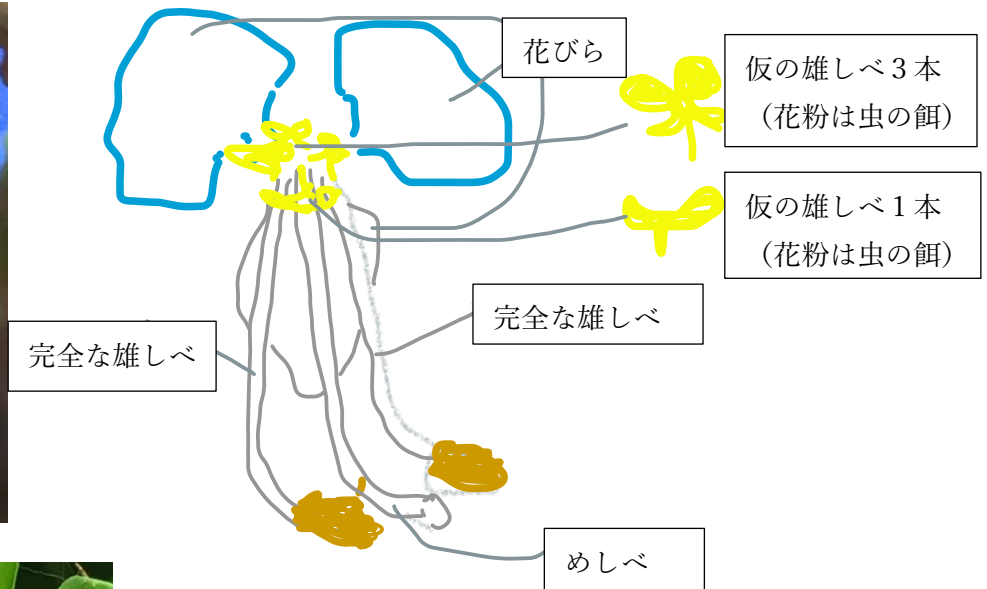
観察した植物

観察した植物は、ヤマボウシ・キツネノマゴ・カタバミ・ヒヨドリバナ・クズ・ツユクサ・イノコズチ・ジャガ・シダ（カニクサ）・ヘクソカズラ・トキリマメ・オミナエシ・ホトトギス・ツルボ・ツリガネニンジン・キンエノコログサ・アキノタムラソウ・オオニシキソウ・カラム

シ・アレチヌスビトハギなどでした。咲く花はもう秋でした。

観察した中でも特に詳しく見たものは、ツユクサの葯・イノコズチの虫こぶ・百日紅の葯・シャガの葉・カラムシ（食草とする蝶類）・アレチヌスビトハギのめしべと雄しべでした。

まずツユクサ。美しい青い花びらと真ん中の黄色い雄しべが目立つ花です。しかしこの黄色い雄しべは花粉は出すもののこの花粉はイミテーション。虫を呼び込むためのもので、虫たちの餌になるそうです。本物の雄しべは、中央の長く伸びた1本のめしべの両横につく長い2本のおしべだそうです。虫を呼び込むための戦略がすごいと思いました。下のツユクサは受粉が終わり、雄しべが丸まっています。



ほんのわずかな時間しか開花していないツユクサ。
こんなに凄いことをしているのかと驚かされるし感心してしまいました。

このツユクサとよく似た花のつくりを持っているのが百日紅（サルスベリ）です。百日紅でも一種類の雄しべしか持たないものもあるそうですが、今日観察したサルスベリは2種類の雄しべを持っていました。

百日紅（サルスベリ）



百日紅は
花びら6枚
餌になる雄しべ
多数
完全な雄しべ
6本
めしべ1本でした。

3 番目はイノコズチ

今日の観察中に見つけた虫こぶです。



午前中の観察の後、このような虫こぶについてパワーポイントのプレゼンテーションを見せさせていただきました。長年撮りためてきたたくさんの虫こぶの写真を見ながら植物と虫の関係のふしぎを聞かせていただきました。

見せていただいた虫こぶの一部をご紹介します。（写真は吉田さん）



イスノキについた虫こぶ（ひよんの笛）



イヌシデの虫こぶ



イノコズチの虫こぶと割ったところ



エゴノキについた虫こぶ



クヌギの木についた虫こぶ

今日観察できた植物

午前中の1時間余りの短い観察で思いのほかたくさんの植物を観察できました。また植物と虫の切っても切れない関係を改めて知ることができました。



ヒヨドリバナ



クズ



シャガ



ナンバンギセル



サルスベリ



ヘクソカズラ



トキリマメ



ホトトギス



ツリガネニンジン



アキノタムラソウ



アレチヌスビトハギ

アレチヌスビトハギの花に虫が来ると右の花のようにめしべと雄しべが一瞬に出てきます。指で触っても出ます。



カラムシ



カラムシを食草とするアカタテハの幼虫（左）とフクラスズメ（右）の幼虫。



コロナ禍での制約のある観察会でしたが、楽しく安全に行うことができてよかったです。